

科目名	施術概論 2						年度	2025	
英語科目名	Surgical operation outline 2						学期	後期	
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	富田泰彦	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師（病院にて勤務）		
【科目の目的】 この科目で主に診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を学ぶことで、柔道整復師が臨床現場で注意を払わなければならない症状・所見の理解を深めることを目的とする。									
【科目の概要】 柔道整復師が現場で知っておくべき内因性疾患とその症状および治療について学ぶ。									
【到達目標】 医療機関では、患者がもっている精神的・肉体的異常を、まず正確に把握しなければならず、こうした医療行為が診察であり、それにより患者が健康に復帰するために行う処置、すなわち治療を施すための根拠が得られることになる。診察から診断について学ぶことで柔道整復師本来の業務範囲に活用できることが目標である。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	呼吸器疾患について完全に理解している。	呼吸器疾患について大體理解している。	呼吸器疾患について部分的に理解している。	呼吸器疾患について理解がやや不足している。	呼吸器疾患について理解していない。				
到達目標 B	循環器疾患について完全に理解している。	循環器疾患について大體理解している。	循環器疾患について部分的に理解している。	循環器疾患についての理解がやや不足している。	循環器疾患について理解していない。				
到達目標 C	消化器疾患について完全に理解している。	消化器疾患について大體理解している。	消化器疾患について部分的に理解している。	消化器疾患についての理解がやや不足している。	理解していない。				
到達目標 D	代謝疾患について完全に理解している。	代謝疾患について大體理解している。	代謝疾患について部分的に理解している。	代謝疾患についての理解がやや不足している。	代謝疾患について理解していない。				
到達目標 E	内分泌疾患について完全に理解している。	内分泌疾患について大體理解している。	内分泌疾患について部分的に理解している。	内分泌疾患についての理解がやや不足している。	内分泌疾患について理解していない。				
【教科書】 教科書（一般臨床医学第2版-社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		施術概論 2			年度	2025
英語表記		Surgical operation outline 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	主要な疾患①	呼吸器疾患（かぜ症候群・インフルエンザ・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患）について理解する。	1 かぜ症候群とは	上気道を中心とした急性炎症であることを理解する。	3	
			2 インフルエンザとは	インフルエンザウイルスによる急性感染症であることを理解する。		
			3 急性気管支炎とは	下気道の急性炎症であることを理解する。		
2	主要な疾患②	呼吸器疾患（肺血栓塞栓症・肺炎・肺結核・気胸）について理解する。	1 肺炎とは	肺領域の急性炎症であることを理解する。	3	
			2 肺結核とは	結核菌による肺結核症であることを理解する。		
			3 気胸とは	胸腔内に空気が貯留し肺が虚脱した状態であることを理解する。		
3	主要な疾患③	循環器疾患（うっ血性心不全・虚血性心疾患・心臓弁膜症）について理解する。	1 うっ血性心不全とは	末梢組織の酸素需要に見合う量の血液を心臓が拍出できない状態であることを理解する。	3	
			2 急性心筋梗塞とは	冠動脈の高度狭窄や閉塞により心筋が壊死に陥る病気であることを理解する。		
			3 僧帽弁狭窄症とは	僧帽弁が狭窄するために左心房から左心室へ血流を障害することを理解する。		
4	主要な疾患④	循環器疾患（心室中隔欠損症・高血圧・深部静脈血栓症など）について理解する。	1 心室中隔欠損症とは	胎生期の異常で心室中隔の一部に欠損孔を認める疾患であることを理解する。	3	
			2 高血圧症とは	診察室での血圧が140/90mmHg以上である場合を理解する。		
			3 深部静脈血栓症とは	長時間の安静などで深部静脈に血栓を生じる疾患であることを理解する。		
5	主要な疾患⑤	消化器疾患（食道炎・食道癌・胃癌など）について理解する。	1 食道炎とは	種々の原因により食道粘膜に炎症が起こったものであることを理解する。	3	
			2 食道癌とは	食道粘膜に発生する悪性腫瘍であることを理解する。		
			3 胃癌とは	胃粘膜上皮から発生する悪性腫瘍であることを理解する。		
6	主要な疾患⑥	消化器疾患（大腸癌・虫垂炎・腸閉塞など）について理解する。	1 大腸癌とは	大腸粘膜より発生した悪性腫瘍であることを理解する。	3	
			2 虫垂炎とは	虫垂の炎症であることを理解する。		
			3 腸閉塞とは	腸内用通過障害の状態であることを理解する。		
7	主要な疾患⑦	肝胆脾疾患（急性肝炎・アルコール性肝障害・肝硬変・肝癌・胆石・胆癌・膵癌など）について理解する。	1 急性肝炎とは	急激な肝細胞障害を生ずる病態であることを理解する。	3	
			2 アルコール性肝障害とは	飲酒過多による肝障害であることを理解する。		
			3 肝硬変とは	肝臓全体が偽小葉とよばれる再生結節によって置換した状態であることを理解する。		
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 呼吸器疾患の代表	風邪症候群・肺炎・肺結核などについて理解する。	3	
			2 循環器疾患の代表	心不全・心筋梗塞・高血圧症などについて理解する。		
			3 消化器疾患の代表	食道癌・胃癌・大腸癌などについて理解する。		
9	主要な疾患⑧	代謝疾患（糖尿病・脂質異常症・肥満症・痛風など）について理解する。	1 糖尿病とは	インスリン作用の不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝疾患であることを理解する。	3	
			2 肥満症とは	脂肪組織が過剰に蓄積した状態であることを理解する。		
			3 痛風とは	高尿酸血症を原因として起こるということを理解する。		
10	主要な疾患⑨	内分泌疾患（クッシング病・下垂体前葉機能低下症・クレチン病など）について理解する。	1 クッシング病とは	下垂体腺腫からのACTH過剰分泌が原因であることを理解する。	3	
			2 下垂体前葉機能低下症とは	下垂体前葉ホルモンの分泌低下であることを理解する。		
			3 クレチン病とは	先天性の甲状腺形成障害であることを理解する。		
11	主要な疾患⑩	血液・造血器疾患（鉄欠乏性貧血・溶血性貧血・再生不良性貧血など）について理解する。	1 鉄欠乏性貧血とは	鉄が欠乏しヘモグロビンが低下して発生することを理解する。	3	
			2 溶血性貧血とは	赤血球の破壊亢進であることを理解する。		
			3 再生不良性貧血とは	造血幹細胞の障害により赤血球、白血球、血小板の全てが減少することを理解する。		
12	主要な疾患⑪	血液・造血器疾患（急性白血病・慢性骨髄性白血病・悪性リンパ腫など）について理解する。	1 急性白血病とは	骨髄および末梢血液中で白血病細胞が増殖し正常の造血機能が障害されることについて理解する。	3	
			2 慢性骨髄性白血病とは	種々の成熟段階の白血球が著明に増加することを理解する。		
			3 悪性リンパ腫とは	リンパ節やリンパ系細胞が悪性化して腫瘍細胞となることを理解する。		
13	主要な疾患⑫	腎・尿路疾患（慢性腎臓病・ネフローゼ症候群・膀胱炎など）について理解する。	1 慢性腎臓病とは	慢性に進行する腎臓病であることを理解する。	3	
			2 ネフローゼ症候群とは	大量の蛋白尿とその結果として低蛋白血症、脂質異常症、浮腫からなる臨床症候分類であることを理解する。		
			3 急性単純性膀胱炎とは	尿路に基礎疾患がなく起こる膀胱の炎症であることを理解する。		
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 糖尿病とは	インスリン作用の不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝疾患であることを理解する。	3	
			2 貧血の種類	鉄欠乏性・溶血性・再生不良性の各貧血について理解する。		
			3 白血病の分類	急性白血病、慢性白血病、特殊な白血病について理解する。		
15	後期のまとめ	後期施術概論2全体の振り返り。	1 呼吸器疾患の主要徴候	咳嗽、喀痰、呼吸困難、ばち指、胸水などについて理解する。	3	
			2 循環器疾患の主要徴候	胸部不快感・胸痛、動悸、呼吸困難などについて理解する。		
			3 消化器疾患の主要徴候	悪心・嘔吐、腹痛、吐血・下血、下痢・便秘、黄疸などについて理解する。		

評価方法：1. 小テスト、53. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等